

具合の悪い生徒の登校規制について

目的：具合の悪い生徒が、JCS 日本語学校ダングラス校へ登校できる状態か否かの目安に使う。

病名	症状	対応
発熱 Fever	発熱とは37度以上の熱。登校する9時間以内にパナドールやそれに類似する解熱剤が必要な場合も発熱とみなす。	発熱がある時は登校させない。発熱が治まってから24時間は登校させない。
下痢または嘔吐 Diarrhoea & Vomiting		下痢又は嘔吐の症状がある時は登校させない。および嘔吐または下痢が治まってから24時間は登校させない。
気管支炎 Bronchitis	普通の風邪の症状で始まり、咳、頬呼吸、喘鳴とひどくなる。	生徒が元気になるまで登校させない。
クループ(急性喉頭炎) Croup	普通の風邪の症状で始まり犬が吠える様な特徴的な咳をし、吸気に喘鳴を補う。	生徒が元気になるまで登校させない。
耳炎 Ear Infections	耳痛、発熱、嘔吐。ひどくなると耳から膿が出る。ほとんどの場合抗生剤が必要。	生徒が元気になるまで登校させない。耳からの膿の排出が止まるまで登校させない。抗生剤投与1日目は登校させない。
インフルエンザ Influenza	呼吸器系のウイルス感染。発熱、頭痛、悪感、喉の痛み、咳。	生徒が元気になるまで登校させない。
鼻水 Runny nose	黄色、緑色の鼻水が出る。	登校してもよい。ただし、生徒が無理なく授業に参加できること。
百日咳 Whooping Cough	感染力の高い疾患。普通の風邪症状で始まり、咳き込み激しくなっていく。「ヒューヒュー」という長く高い音を伴う呼吸音が現れる。	生徒が元気になるまで登校させない。抗生剤投与5日間登校させない。
ロタウイルス Rotavirus ジアルジア Giardiasis カンピロバクター Campylobacter クリプトスポリジウム Cryptosporidiosis、 細菌性赤 Shigellosis	嘔吐、発熱、下痢	症状がある間は登校させない。下痢、嘔吐が治まってから24時間は登校させない。
ノロウイルス Norovirus	嘔吐、発熱、下痢	症状がある間は登校させない。下痢、嘔吐が治まってから48時間は登校させない。
水疱瘡 Chicken Pox	赤い発疹から始まり、水疱(水膨れ)が体中にできる。発疹は1週間ほどでかさぶたになる。水疱瘡は感染力が高い。	発疹が全てかさぶたになるまで、登校させない。
ヘルペス(口唇ヘルペス) Herpes/Cold sores	頭皮、顔、体、四肢に、小さな赤い発疹ができ水膨れ、かさぶたになっていく。単純ヘルペスウイルス感染。	生徒同士の接触が多い幼児部の生徒は水膨れから膿が出ている場合は登校させない。小学部生徒は登校しても良いが膿が出ている患部は保護テープなどで覆う。
手足口病 Hand foot & mouth disease	ウイルス感染。水疱(水膨れ)が口や手にできる。	発疹が全てかさぶたになるまで登校させない。

病名	症状	対応
伝染性紅疹(りんご病) Erythema infectiosum	発熱、顔面、特に頬に赤い発疹ができる。レース模様のようなまだらな発疹が体や四肢にできる。	登校してもよい。
しらみ Head lice	頭皮のかゆみ。しらみ、しらみの卵が頭皮に見える。しらみの卵は少し透けた艶のある白色でフケに似ており、頭髪にくっついている。	しらみ、卵駆除ができるまで、登校させない。家族全員駆除を行う。
インペチゴ Impetigo	細菌による皮膚感染。小さな赤い発疹からはじまり、水膨れ皮膚のびらんに変わっていく。	抗生剤投与24時間以内は登校させない。患部は防水の保護テープで覆う。覆えない場合は患部がかさぶたになるまで登校させない。
麻疹 Measles	発熱、倦怠感、鼻水、咳、結膜炎の症状後、3日から7日後に発疹が出現する。発疹は頭部からはじまり、体幹下肢に広がる。	発疹がでてから、最低4日間は登校させない。
水いぼ Molescum Contagiosum	皮膚にできる2から5mmの痛みを伴わないピンク、白色のいぼ。いぼの中央はくぼみ白い芯がある。	登校してもよい。いぼはうつるので保護テープで覆っておく。
突発性発疹 Roseola	ウイルス感染。突然の高熱が3-5日続き解熱と共に発疹が全身に現れる。	生徒が元気になるまで登校させない。
風疹(3日はしか) Rubella	リンパ腺の腫れ、赤くて小さなひとつひとつはっきりした発疹が顔から体中に出る。発疹はすぐに消えることもあるが患児は他に感染させる危険あり。	発疹出現から4日間は登校させない。生徒が元気になるまで登校させない。
結膜炎 Conjunctivitis infectious or Viral	片目または両目から膿がでる。目の充血、腫れ。	症状が治まるまで登校させない。
おたふく風邪 Mumps	顎や首の痛みと共に肩耳または両耳の下や前の方が腫れ、痛みがでる。	耳の腫れ出現から、9日間は登校させない。
ぎょう虫 Worms	お尻のかゆみを訴える。肛門付近に白い糸のようなぎょう虫をみる事もある。	登校してもよい。家族全員駆除の治療、対策をする。

登校の規制がない疾患でも、発熱、下痢、嘔吐の症状がある場合は、その項目の登校規制に従う。登校規制期間を過ぎ、感染の恐れがなくなっても、生徒が授業に参加できないように元気がない場合は登校させない。